



さかい いくろう
酒井 郁郎

あそう かずひで
浅生 和英

さとう たかのぶ
佐藤 太信

やざわ はるか
矢沢 青河

のざわ しげまさ
野澤 茂雅

みやうち そうこ
宮内 奏子

会派インターンシップ実施中! ~全国初の試みです~

最近なにかと話題の市議会議員。そこで、一般市民の皆様には議員の仕事を経験して頂ける場を作れないかと考えました。なんと!20人をこえる皆様にご応募頂き、市内視察や政策提言に取り組んでいます。戸田の会はこれまでも、投票率向上キャンペーン、議会報告会、駅頭でのレポート配布、会派モニター制度などを実施。これからも皆様に戸田市の課題をお知らせし、市政に参加しやすくしてまいります!



くり返される震災と死者…戸田市は大丈夫か。

能登半島地震は死者300人超と熊本地震を超え、避難先の死者(関連死)も増え続けています。震災のたびに多くの死者が出るのはなぜなのでしょう?

倒壊



家屋の倒壊により多くの人が死亡

沿道が崩落、一般車両が殺到し大渋滞。救命車両が立ち往生。



渋滞

水道



老朽化した上下水道の更新が進んでおらず、大きな被害が発生。

避難先の死の多くはトイレ、栄養、睡眠不足による肺炎や心疾患死。TKB(トイレ・キッチン・ベッド)の確保が重要。



避難所

想定外の甘さ、対策の遅れ…市は責任大

震災対策は「家屋の耐震化」「人命救助の迅速化」、関連死には「避難先の生活環境」が重要。いずれも震災前の準備がほぼ全てです。そこで提言します。

1. 震災パターンごとに死者数をシミュレーション、死者0人をめざし準備する
2. シミュレーションに基づきマニュアルを詳細化、震災時に何も考えず動ける体制へ

<ポイントと戸田市の課題>

倒壊死を防げ!

震災時

耐震化されていない一般家屋が多数残る。まずは耐震診断による洗い出しを。

とにかく救命を早く!

震災直後 ~3日

倒壊家屋の救命をいち早く地域で。救助資機材の配置、地域リーダー育成を。

物資・人材の受入インフラ復旧

震災 3日~

首都圏壊滅、救援物資が不足!戸田市の備蓄は十分か?水道管の耐震化を急げ!

早期の復興へ

明日にも大地震は起こりえます。「想定外」をなくし、死者を1人でも減らさなくてはなりません。



さかいいくろう

酒井郁郎

代表・無所属・4期

1975年3月4日生

【経歴】東京大学医学部大学院、マツキンゼー(コンサル)保育・医学教育事業、国会議員政策秘書資格、保育士

市財産の活用・スリム化

戸田市は多くの土地や公共施設を保有しており、その多くは十分な活用がなされていません。企業であれば資産の効率的な活用を株主から厳しく問われます。行政ではこうした観点からのチェックはされません。【例1】リサイクルフラワーセンターは、ごみ処理を行う衛生センターに併設された広大な施設で、花苗の育成や生ごみ再生などで障害者雇用を行っています。理念は非常に良いのですが、使用する土地の資産価値に比べて成果が十分ではなく、再検討を提言しています。

【例2】戸田南小では児童数増により増築が行われます。校庭が狭く国基準の約半分。隣接地の買収や校舎の高層化が待たれます。ところが当初、3階建の既存校舎の隣に新校舎(2階建)、その隣に3階建の新校舎(つまり、旧校舎から4階→3階→2階→3階のこぼこ)という不思議な計画でした。高層化は無く、2階部分の上は「空間」つまり土地があるのに遊ばせるのと同然。指摘を続け、最終的には2階上部も活用(3階建て)へ変更されました。【まとめ】十分利用されない土地・財産は社会全体の損失です。効率的に利用し、不要なら売却する等、指摘を続けます。

水害時高速道路避難

浅生 台風等による川の溢水や堤防の決壊などを想定し、東京都や江東5区、高速道路各社は、高速道路と一般道をつなぐ傾斜路を緊急避難先に活用する協定を結んだ。本市も荒川が破堤した場合は、市全体が水没する可能性が高い。3年前には、関係各社との協議の場を設けるところから取り組みたいとのことだった。現況を伺う。

危機管理監 課題を抽出している段階であり、協議までは至っていない。



子供の食を守る取り組み(フードリボンプロジェクト)

浅生 子供たちが、いつでも安心して食事ができる社会の実現が求められている。こども食堂やフードパントリーは年々増加している。フードリボンプロジェクトは、地域で善意の輪が自走する仕組みである。この取り組みをぜひ、支援するべきである。本市の見解は。

こども健やか部 地域の飲食店が社会貢献活動に取り組むことで、地域とのつながりを強め、子どもを見守る機運が高まるなど、可能性がある取り組みである。



あそうかずひで

浅生和英

幹事長・無所属・2期

【経歴】大宮高校、法政大学、山一證券、美容室VASE

【資格】社会福祉士精神保健福祉士、防災士、保育士

【議会】副議長

消防職員・団員の惨事ストレス対策を!

佐藤 過酷な現場に遭遇した消防職員・団員に対してメンタルサポートが重要。①惨事ストレス対策の強化を。②災害時を含むドローンの活用の拡大を。

消防本部 ①体調を崩す前に予兆を見逃さないことは大変重要である。惨事ストレス対策の規定等の文書化はしていないが、今後規定等の準備を進めるなど、サポート体制の充実に努める。②被災状況調査に必要な場合にR2年度に協定済。防災訓練への参加協力を協議する。

発達面に関する相談窓口と連携をわかりやすく!

佐藤 発達について相談できる窓口がわからない、行政に相談しても十分な情報が得られなかったご意見をいただいた。①担当を明確にした相談体制の整備を。②心理職の採用により見立ての強化を。

健康福祉部 ①関係する部局が共通認識を持ち、発達に関する相談がどこでも対応できるよう相談支援体制と連携を強化する。②こころの健康相談に臨床心理士を配置、毎月2回の相談日を設ける。



さとうたかのぶ

佐藤太信

無所属・2期

【経歴】戸田東小中央大学、大正大学院、東京電力、児童福祉施設(福)、乳幼児教育相談、スクールカウンセラー

【資格】臨床心理士



矢沢青河

無所属・2期
1986年5月21日生
【経歴】茗溪学園、鹿児島大学、FM放送局、県議秘書7年(菅原文仁現市長)
【所属】消防団(第七分団)、防災士

能登半島地震から学ぶ、二次避難のすすめ。

厳しい寒さの中、暖房や物資の不足、断水やトイレ等の衛生環境への不安、プライバシーの無さなど、被災地の避難所の過酷な実態が連日報道されました。仮設住宅やインフラ等の整備が追いつかず、半年以上経過した今も千人を超える方が避難生活を余儀なくされ、関連死も100人を超えました。避難所の開設は7日間を基本とし、長期滞在を想定していませんが、避難の長期化はさらにあり、そのしわ寄せは避難者の我慢や心身の疲弊となって押し

寄せます。この悪循環を断ち切るためにも、劣悪な環境の被災地から、市外のホテルや宿へと拠点を移す、2次避難を迅速に行う体制構築が必要です。



<能登半島地震の2次避難の課題>

- ① 受入れ先の自治体やホテル等の役割分担・条件整備が具体化されないまま2次避難が進み混乱
- ② 被災者への啓発や理解不足で2次避難に遅れ
- ③ 自治体の2次避難の想定が乏しい。県と連携し、広域的な避難計画や協力体制が必要
誰もが2次避難できるよう、県との連携や避難所運営での想定を進めるべきです。

自治体情報システム標準化

野澤 自治体情報システム標準化とは。
企画財政部 自治体は2025年度までに住民基本台帳等の20業務について、国が定めた標準準拠システムを利用することが義務付けられた。

野澤 標準準拠システムのメリットは。
企画財政部 オンライン申請の基盤整備により、市役所に来なくとも手続きが完了する「持ち運べる市役所」の実現等。

野澤 本市の現在の取組み状況は。
企画財政部 「情報システム標準化検討ワーキング」にて、基本方針、スケジュール、

懸案などの情報共有や、「フィットアンドギャップ分析」の準備を進めている。

野澤 綿密なプロジェクト体制、緻密な計画、導入・移行業務と、優秀な技術者人材確保を進めて頂きたい。

ナガエツルノゲイトウ

野澤 「地球上で最悪の侵略的植物」とも呼ばれる「ナガエツルノゲイトウ」が戸田橋付近に繁茂しているが。



環境経済部 国や県の施策に準じ計画的な対応をする。他管轄と連携して体制整備と機会ごとの支援策を検討する。



野澤茂雅

無所属・1期
【経歴】東京理科大学卒、システムエンジニア、IT関連会社代表、保育園保護者会後援会会長、小中学校PTA会長、町会副会長



宮内奏子

無所属・1期
【経歴】浦和一女、慶應義塾大学卒、翻訳者として特許事務所・翻訳会社に勤務、2児の母
【資格】英検1級、TOEIC970点

小学生のパソコン端末の持ち帰りについて

宮内 ランドセルが重い現状を少しでも改善するために、自宅にパソコンがある児童はそれで代用したり、毎日ではなく必要に応じて持ち帰りにするなど、より柔軟で選択的な対応にはいかがか？

教育委員会 タブレット端末の持ち帰りについては、各学校において子供たちの実態に即した対応をしており、クラウド利用による家庭の端末の利用が可能であることも各学校に周知している。

宮内 わたしも2人の小学生の子育てをしているが、子供たちの荷物はとても重く、「ランドセル症候群」という言葉もある。ランドセルに加え、水筒、体操着、上履き、絵具や習字セットなどもあり、少しでも荷物が軽くなるよう、タブレット端末の持ち帰りの適切な対応を議会で要望しました。



←学校で現在使用しているパソコンは重さ約1.5キロで、ペットボトル3本分、ノート10冊分に相当する重さです。

少子化問題

結婚・出産・子育て・教育の課題へ
本気の取り組みを！

1 「結婚して子供を持つ」 夢を支援するには？



最大の課題は結婚支援。
昔も今も、未婚者の約9割
が結婚を希望する一方、近年お見合いが少なくなった
ことでその機会は激減しま
した。婚活を若者だけに押
し付けるのは酷な話です。

もちろん、課題は婚活だけではありません。
子育て世代の多くは2人以上の子供がほしいと
希望しながら、出生率は1.2と約半数に留まっ
ています。少子化問題は結婚に始まり、出産・子
育て・教育・独立で終わる、いわば「20年マラソ
ン」。そのネックを1つ1つ解消することで「もう1
子」の希望をかなえ、国家課題の解消にもつな
げていきます。

2 会派政策① 本気の出産支援を！

高度成長期には、①成長が見込める+②周囲
の協力(親など)等、環境に恵まれ、「子供を持っ
ても何とかやっていける」と思えたのが、この
30年間、①②いずれも後退し続けてきました。

再び「①成長が見込める」ようになり
つつある今、「②周囲の協力」を制度と
して作り出していくこ
とこそ、「もう1子」の希
望をかなえるために極
めて重要です。



この4月から、戸田の会が提言してきた「産前
産後ケア」制度が戸田市でも導入され、すべて
の妊産婦が利用できる母体ケア、家事支援が開
始されました。実際に利用した人の声を聞き、
さらに使いやすくしていきます。

3 会派政策② 本気の学力アップを！

「子供の勉強が遅れている。塾代は払えない
のであきらめた」という声がありました。低所得
家庭の多くは勉強をあきらめる現実があり、ま
た子供1人あたり2000万円以上という莫大な
教育費は「もう1子」をあきらめる大きな要因
になっています。学校が責任をもって、子供の学
力に合わせた授業を行うことと、それに加えて
塾などの力を借りる方法もあります。

どんな家庭の子にも塾代支援などで道筋を
示し、学校の授業に追いつけるようにしてい
く方法を提案します。「子育て
はお金がかかる」というイメ
ージを一掃するためにも、
一役買うはずです。



4 市は自分の問題として 本気の取り組みを！

①②の政策は、少子化解消への小さなアイテ
ムにすぎません。子育ての負担を減らし育てる
環境をよくするため、次の政策を実現します。

- ▶ ボール遊びができる公園や児童館など、
乳幼児から若者までの十分な遊び場
- ▶ 医療的ケア児、障害児の受け入れ拡大
(保育園、学童、デイケア)
- ▶ 小中学校にかかる費用(給食・制服・学級
費等)の負担軽減
- ▶ AI時代の仕事に対応した教育の提供(IT
トレーニング施設)

国の方針は政局によって左右されます。国任
せにすることなく、戸田市が自分たちの問題と
して少子化に取り組むことが大切です。

